

## 革新的な診断・治療機器創出拠点

医療機器の臨床研究から薬事申請まで一連の流れを迅速かつ適正に実施し、革新的な医療機器を継続して創出する本格的な産学連携拠点として、社会に大きく貢献します。

### 体制

センター長(病院長の兼務)、副センター長及び医療機器開発支援室長により構成しており、研究プロジェクト部門、高度人材養成部門及び産学連携オフィスを設置しています。

- ・研究プロジェクト部門には民間等との共同研究等のプロジェクトから構成します。プロジェクトごとにプロジェクトリーダーを置きます。
- ・高度人材養成部門には部門長を置き、副センター長が兼務します。
- ・産学連携オフィスには自治体等の団体オフィスから構成し、団体ごとに代表者を置きます。

### 活動

- ・各研究プロジェクトから生み出される革新的な医療機器を速やかに実用化するとともに、医療機器開発を担う人材の育成を行います。



## 集学的治療でリウマチ性疾患の克服をめざす

内科・整形外科共同で、リウマチ性疾患の診療を目的とした新しい診療科です。生物学的製剤(抗体製剤・レセプター製剤)を含めた内科的抗リウマチ薬治療から手術(図)、リハビリテーションまでの集学的治療を患者さんに提案していきます。

### 診療体制

日本リウマチ学会リウマチ専門医また日本整形外科学会専門・リウマチ医資格を有する医師4名でチーム医療を行うリウマチ診療科です。京大病院 免疫・膠原病内科および整形外科との連携の元に診療します。

### 対象疾患

関節リウマチ、および原因不明の持続性関節痛をきたす疾患(一部膠原病も含まれます)を診療します。特に発症早期の関節リウマチは「寛解」あるいは「治癒」に導くことができるよう積極的に治療いたします。

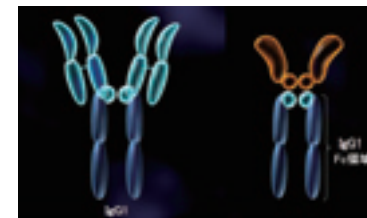
### 診療、研究実績

#### 一般的な診療についての実績

平成23年度新設の診療科で過去の実績はありませんが、京大病院 免疫・膠原病内科、整形外科で研鑽を積み、かつ研究実績を有する臨床医が共同して診療に当たります。今後、近隣の病院・診療所と積極的に連携をとり、京都近郊の関節リウマチ診療の充実に取り組みます。

#### 高度医療の取り組み・研究

- ①「目標達成に向けた治療(Treat to Target)」の実践  
明確な治療目標(寛解あるいは低疾患活動性)にむけて生物学的製剤を含めたタイトコントロールを行い、残存する関節炎に対しても積極的な局所治療を行います。
- ②新しい治療へ向けた関節リウマチの病因に関する研究  
関節リウマチの発症には遺伝的素因と環境因子の両者が関与するとされます。多くの患者さんの診療を通して病因・病態解明に取り組んでいき、新しい治療開発へと結びつけていきます。
- ③新しい手術治療の開発と臨床応用  
これまで確立された最先端の手術を正確に行いながら、よりよい新たな手術治療を開発し、患者さんの生活の改善に役立てていきます。



抗体製剤 (TNFα/IL-6阻害薬的)      レセプター製剤 (TNFα/CD80阻害薬的)



最新の手術法-リハビリテーションによる機能回復を目標として